日本における中国考古学関係文献目録（2003 年）

上原利恵・佐野和美・竹内康介・徳留大輔
松本圭太・村野正景・濱名弘二

【図録／シンポジウム】

佐川美術館編『中国染付 コバルトブルーの世界』佐川博物館

島根県立美術館・大広編『中国五千年の名宝 上海博物館展』島根県立博物館

山口県立萩美術館・浦上記念館『原始土器の美 大汶口遺跡出土文物』山口県立萩美術館・浦上記念館

【単行本】

飯島武次『中国考古学概論』同成社

池田温『敦煌文書の世界』（歴史学叢書）名著刊行会

池田知久『郭店楚簡儒教研究』汲古書院

井上香都羅『古代遺跡と神山紀行―遺跡の本質・祖霊信仰・神山のルーツを訪ねて』彩流社

植村清二『万里の長城―中国小史』〈改版〉中央公論新社

江上波夫・佐原真『新装版騎馬民族は来た!?来ない?!』小学館

王小慶『仰韶文化の研究―黄河中流域の関中地区を中心に』雄山閣出版

王石林・朱乃誠（高木智見訳）『中国考古の重要発見』（中国文化史ライブラリー）日本エディタースクール出版部

岡崎敬（春成秀爾編）『シルクロードと朝鮮半島の考古学』第一書房

岡村秀典『夏王朝―王権誕生の考古学』講談社

岸野正剛『戦略の謎』近代文芸社

来村多加史『万里の長城 攻防三千年史』講談社

木村茂光編『雑穀―畑作農耕論の地平』青木書店

工藤元男『中国古代文明の形成と展開』（早稲田大学オンデマンド出版シリーズ）早稲田大学文学部

五井直弘『中国古代国家の形成と史学史』名著刊行会

古賀登『四川と長江文明』東方書店

後藤直・茂木雅博編『東アジアと日本の考古学Ⅲ　交流と交易』同成社

後藤直・茂木雅博編『東アジアと日本の考古学Ⅴ　集落と都市』同成社

佐藤武敏『王国維の生涯と学問』風間書房

佐藤洋一郎『イネの文明―人類はいつ稲を手にしたか』PHP 研究所

饒宗頤（小早川三郎訳）『漢字樹―古代文明と漢字の起源』すずさわ書店

初期王権研究委員会編『古代王権の誕生〈1〉東アジア編』角川書店
初期王権研究委員会編『古代王権の誕生〈3〉中央ユーラシア・西アジア・北アフリカ編』角川書店
白川静『桂東雑記１』平凡社
白川静『文字講話２』平凡社
千田稔・宇野隆夫編『東アジアと『半島空間』―山東半島と遼東半島―』思文閣出版
富谷至『木簡・竹簡の語る中国古代書記の文化史（世界歴史選書)』岩波書店
松丸道雄・池田温・斯波義信・神田信夫・濱下武士編『世界歴史大系 中国史１―先史～後漢―』山川出版社
NHK「文明の道」プロジェクト・本村凌二・蔀勇造・吉田豊・鶴間和幸ほか『NHK スペシャル文明の道３　海と陸のシルクロード』日本放送出版協会

【論　文】

愛新覚羅烏拉熙春「《耶律仁先墓志銘》與《耶律智先墓志銘》之比較研究」『立命館文学』581，pp. 14-29
愛新覚羅烏拉熙春「《耶律迪烈墓志銘》與《故耶律氏銘石》所載墓主人世系考―兼論契丹人的“名”與“字”―」『立命館文学』580，pp. 1-16
赤尾栄慶「書誌学的観点から見た敦煌写本と偽写本をめぐる問題（特集 敦煌学の百年)」『仏教芸術』271，pp. 33-47
秋山進午〈史料紹介〉「秦始皇帝陵研究の成果と課題―『秦始皇帝陵園考古報告（1999)』第壱部から」『古代文化』55－7，pp. 389-401
秋山進午「正倉院金銀花盤と唐代金花大銀盤」『美術史』53－1，pp. 30-47
秋山進午「秦始皇帝陵研究の成果と課題―『秦始皇帝陵園考古報告（1999)』第壱部から」『古代文化』55－7，pp. 33-46
秋山光和「ポール・ペリオと「蔵経洞」壁画をめぐって（特集 敦煌学の百年)」『仏教芸術』271，pp. 57-60，3-4
東潮「古代鉄文化の交流」『東アジアと『半島空間』―山東半島と遼東半島―』思文閣出版，pp. 74-92
安家瑤「唐大明宮含元殿遺跡の再発掘と再検討」『創立 50 周年記念　奈良文化財研究所学報　研究論集ⅩⅣ 東アジアの古代都城』66，pp. 57-73
飯尾秀幸「中国国家史研究は進んだか（特集 古代史研究の現在―石母田正『日本の古代国家』発刊 30 年を契機として)」『歴史学研究』782，pp. 53-57，71
飯島武次「関野雄先生を悼む」『亜州学誌』２，pp. 1-2
飯山知保「金元代華北社会における在地有力者―碑刻からみた山西忻州定襄県の場合―」『史学雑誌』112，pp. 26-51
飯山知保「金元代華北における州県祠廟祭祀からみた地方官の系譜―山西平遥県応潤侯廟

について」『東洋文庫』85－1，pp. 1-30
猪飼祥夫「湖北省荊州市の周家台三十号秦墓竹簡の病方について」『医譚』80, pp. 4843-4845
猪飼祥夫「張家山漢墓漢簡『引書』にみる導と引について」『医譚』79，pp. 4743-4745
石松日奈子「雲岡中期石窟新論―沙門統曇曜の失脚と胡服供養者像の出現」『Museum』587，pp. 25-47
伊藤道治「三星堆出土青銅器管見（上)」『関西外国語大学研究論集』77，pp. 165-198
伊藤道治「三星堆出土青銅器管見（下)」『関西外国語大学研究論集』78，pp. 93-108
井波陵一「王國維と二重證據法」『辺境出土木簡の研究』朋友書店，pp. 9-47
今野春樹「遼代契丹墓の研究―分布・立地・構造について」『考古学雑誌』87－3，pp. 1-36
今野春樹「遼代契丹墓出土葬具について」『物質文化』75，pp. 14-29
今村佳子「世界の遺跡 中国・山東省 双乳山１号墓」『考古学研究』50－1，pp. 32-34
今村佳子「中国新石器時代の土器からみた文化動態」『先史学・考古学論究Ⅳ』pp. 127-190
今村佳子「小企画展示　華やかな明代陶磁器」『陶説』600，pp. 83-85
岩崎日出男「法門寺の埋納物に記された僧の出自とその経歴について」『高野山大学密教文化研究所紀要』16，pp. 1-9
上野祥史「盤龍鏡の諸系列」『国立歴史民俗博物館研究報告』100，pp. 1-23
上野祥史「漢墓資料研究の方向性　長沙地域における前漢社会をモデルとして」『国立歴史民俗博物館研究報告』108，pp. 67-92
鵜飼昌男「漢代郡太守の持つ人事權について」『辺境出土木簡の研究』朋友書店, pp. 273-295
宇野隆夫「古代玉文化の交流」『東アジアと『半島空間』―山東半島と遼東半島―』思文閣出版，pp. 59-73
宇野隆夫「漢代画像の調理と食事―日本古代土器文化の源流として―」『北陸古代土器研究』10，pp. 1-14
栄新江（森部豊訳）「唐写本中の「唐律」「唐令」及びその他」『東洋学報』85－2，pp. 1-17
江村治樹〈書評〉「松井嘉徳著『周代國制の研究』」『東洋史研究』62－3，pp. 475-482
江村治樹「戦国時代尖足布・方足布の性格」『名古屋大学文学部研究論集（史学 49)』146，pp. 1-46
遠藤啓介「景徳鎮窯青白磁梅瓶の編年的研究―宋・元代を中心に―」『貿易陶磁研究』23，pp. 132-157
翁育瑄「北宋墓誌に見える財産権に関する史料について」『上智史学』48，pp. 93-117
翁育瑄「唐宋墓誌から見た女性の守節と再婚について―未亡人の選択とその生活」『唐代史研究』６，pp. 41-58
王宇・房学恵（柴田幹夫訳）「旅順博物館所蔵ガンダーラ仏像について」『東洋史苑』60・61，pp. 1-26
王衛明「五代王処直壁画墓に関する考察―その墓主の経歴と壁画様式の諸問題をめぐって―」『京都橘女子大学研究紀要』29，pp. 16-75

王建華（川村佳男訳）「海岱龍山文化における人口の数量研究」『亞州学誌』２，pp.3-27
王素「長沙走馬楼三国呉簡的研究及其基本問題―長沙走馬楼三国呉簡研究的回顧与展望―」『明大アジア史論集』９，pp.17-41
王妙発「中国北方の先史「城壁」集落」『和歌山大学経済学部研究年報』７，pp.65-92
大川俊隆「「狃［セイ］」考」『辺境出土木簡の研究』朋友書店，pp.411-457
大櫛敦弘「歩行と乗車―戦国秦漢期における車の社会史的考察」『人文科学研究〈高知大学人文学部人間文化学科〉』10，pp.55-71
太田幸男〈書評〉「佐原康夫著『漢代都市機構の研究』」『東洋史研究』62－2，pp.330-336
太田幸男「第六章 秦」『世界歴史大系 中国史１―先史～後漢―』山川出版社，pp.333-363
太田幸男「第七章 前漢」『世界歴史大系 中国史１―先史～後漢―』山川出版社，pp.365-471
太田幸男「〔補論３〕先秦・秦・漢時代の法制と政治」『世界歴史大系 中国史１―先史～後漢―』山川出版社，pp.472-489
大津透・野尻忠・稲田奈津子「大谷文書唐代田制関係文書群の復原研究」『東洋史苑』60・61，pp.35-86
大貫静夫「中国南部―南嶺山脈の北と南（特集 縄文文化の起源を探る）―（周辺地域の土器出現期）」『季刊考古学』83，pp.75-79
大貫静夫「日本と大陸の交流」『東アジアと日本の考古学Ⅲ　交流と交易』同成社，pp.3-28
大和岩雄「追悼・江上波夫先生」『東アジアの古代文化』114，pp.114-116
岡内三眞「新疆奇台県石城子遺跡の考古学的考察」『早稲田大学大学院文学研究科紀要』49－4，pp.87-101
小方登「衛星画像でみる渤海国の朝貢路―遼東半島・山東半島―」『東アジアと『半島空間』―山東半島と遼東半島―』思文閣出版，pp.188-203
岡崎完樹「邯鄲訪問記―河北省邯鄲市周辺の遺跡探訪問―」『亞州学誌』２，pp.68-74
岡林孝作「南朝皇帝陵の再検討―石獸の編年を中心に」『橿原考古研究所論集』14，pp.599-621
岡村秀典「後漢代大型墓の構造と規格」『立命館大学考古学論集』3－2，pp.939-950
岡村秀典「先秦時代の供犠」『東方学報』75，pp.1-80
岡村秀典「第三部 中国　序章」『古代王権の誕生〈1〉東アジア編』角川書店，pp.181-185
岡村秀典「第三部 中国　第三章 王墓の成立とその祭祀」『古代王権の誕生〈1〉東アジア編』角川書店，pp.212-225
愛宕元〈紹介〉「國家文物局編『中國文物地圖集』(An Atlas of Chinese Cultural Relics)」『東洋史研究』62－2，pp.347-350
鬼塚克忠・陸江・唐暁武他「Geotechnical Characteristics and Construction Methods of Yoshinogari Fun-kyu Tomb in Japan and Tu-dun Tomb in China」『土木学会論文集』736，pp.1-17
尾上実「〈海外情報〉中国・杭州出土の饒益神寶」『出土銭貨』18，pp.75-80

小野山節「神仏像手足の型式と三仏三獣鏡の年代」『中国考古学』３，pp. 87-105
小羽田誠治「清末成都における都市計画とその変容―空間構造及びその認識の問題から」『東洋学報』84－4，pp. 453-486
尾身哲也「唐大明宮麟徳殿遺跡見学記」『明大アジア史論集』９，pp. 69-74
何歳利「大明宮太液池の予備調査と発掘調査研究」『創立 50 周年記念　奈良文化財研究所学報　研究論集ⅩⅣ　東アジアの古代都城』66，pp. 95-108
竺沙雅章「居延漢簡中の社文書」『辺境出土木簡の研究』朋友書店，pp. 341-365
梶山智史「大趙神平二年「王真保墓誌」について―十六国北朝時期における「匈奴」の一側面」『駿台史学』119，pp. 1-32
加藤晋平「モンゴル国アウラガ遺跡第 11 号建物周辺表採の瓦片について」『博望』4，pp. 1-8
角谷常子「簡牘の形状における意味」『辺境出土木簡の研究』朋友書店，pp. 89-118
川西宏幸「都市の発生」『東アジアと日本の考古学Ⅴ　集落と都市』同成社，pp. 247-277
黄川田修「動向・文化（考古・文物）」『中国年鑑 2003』中国研究所編，創土社，pp. 224-226
黄川田修「臨淄斉国故城の西周期遺存の背景」『亜州学誌』２，pp. 38-67
菊地大樹・高野晶文「日本における中国考古学関係文献目録（2002 年）」『中国考古学』３，pp. 127-136
木暮直隆「青銅鼎による楚文化についての一考察」『亜州学誌』２，pp. 95-102
北村優季〈書評〉「妹尾達彦著『長安の都市計画』」『唐代史研究』６，pp. 145-151
木下尚子「日本列島文物受容の三態―新石器時代の貝珠から（特集 日本文化の境界と交通―2001 年国際シンポジウムの記録―第１セッション：異文化交流の諸相）」『立教大学日本学研究所年報』２，pp. 20-27
木下尚子「東アジアの貝珠文化」『東アジアと日本の考古学Ⅲ　交流と交易』同成社，pp. 219-260
木村知実「『魯迅蔵漢画象』（第二冊）所収漢画像石拓本補正一覧表（試稿）」『千里山文学論集』70，pp. 77-89
久米雅雄「「東西印章史論序説」―中国の印章とシルクロードの印章とオリエントの印章―」『立命館大学考古学論集』3－2，pp. 925-938
黄暁芬「古代葬制の交流」『東アジアと『半島空間』―山東半島と遼東半島―』思文閣出版，pp. 93-114
江優子「漢墓出土の鎮墓瓶について―銘文と墓内配置に見える死生観―」『鷹陵史学』29，pp. 1-45
小島芳孝「渤海考古学の近況と課題」『古代学研究』161，表紙裏
後藤雅彦「東南中国の紡錘車覚書」『人間科学』11，pp. 243-266
後藤健「新疆ウイグル自治区西域都護府の調査」『中国考古学』３，pp. 124-126
小南一郎「第三部 中国　第四章 周の建国と封建」『古代王権の誕生〈1〉東アジア編』角川書店，pp. 226-240

小森陽子「雲岡石窟曇曜五窟論―第十八窟本尊定光仏説の提起」『仏教芸術』266, pp. 51-74, 2-3
近藤聖史「西周金文に見える祖考の稱謂について」『学林』36・37，pp. 26-57
今野春樹「遼代契丹墓の研究―分布・立地・構造について―」『考古学雑誌』87－3, pp. 1-36
柴生芳（藤井律之訳）「敦煌漢晉懸泉遺址」『辺境出土木簡の研究』朋友書店，pp. 161-203
斉東方「隋唐環島文化の形成と展開―朝陽隋唐墓研究を中心として―」『東アジアと『半島空間』―山東半島と遼東半島―』思文閣出版，pp. 204-236
蔡鳳書「古代山東文化と交流」『東アジアと『半島空間』―山東半島と遼東半島―』思文閣出版，pp. 45-58
阪谷昭弘「夏王朝の傳承における有扈種討伐者についての一試論」『学林』36・37，pp. 1-25
佐川正敏「中国都城の発展史と古代日本への影響」『東アジアと日本の考古学Ⅴ　集落と都市』同成社，pp. 109-148
崎川隆「山東省済南市大辛荘遺跡出土の甲骨文について」『亞州学誌』２，pp. 28-37
佐藤洋一郎「中国の野生イネ（特集 メコン風土と野生イネ―中国からベトナムへ)」『アジア遊学』55，pp. 9-18
佐藤達郎「馬圈灣出土の食糧支給關係簡」『辺境出土木簡の研究』朋友書店，pp. 245-271
佐藤直人・仲山茂「銀雀山漢簡『守法守令等十三篇』訳註（1)」『名古屋大学東洋史研究報告』27，pp. 77-109
沢田勲「匈奴遊牧国家論批判―匈奴初期政権に関する理論的検討」『明大アジア史論集』９，pp. 1-16
重近啓樹〈書評〉「池田雄一著『中国古代の聚落と地方行政』」『唐代史研究』６，pp. 158-164
十時淳一「敦煌莫高窟の経変図配置より見た８－10 世紀の仏教受容について―『天請問経』及び『天請問経疏』の写本の一分析―」『史学研究集録』pp. 1-30
朱岩石「世界の現状　中国」『季刊考古学』81，pp. 80-83
徐光輝「古代の防御集落と青銅器文化の交流」『東アジアと『半島空間』―山東半島と遼東半島』思文閣出版，pp. 21-44
徐光輝「中国の農耕集落」『東アジアと日本の考古学Ⅴ　集落と都市』同成社，pp. 3-51
白井良彦「後漢尚方作の紀年鏡」『古代史の海』32，pp. 14-33
白川静「第三部 中国　第二章 殷王朝の成立とその構造」『古代王権の誕生〈1〉東アジア編』角川書店，pp. 201-211
秦小麗「二里頭時代の土器動態とその背景―中國初期國家形成過程における地域間關係の分析」『東方学』106，pp. 21-38
辛徳勇（中村圭爾訳）「唐長安城研究の基本的文献」『都市文化研究』２，pp. 177-186
末次信行「中國史研究小録（12）殷王朝の卜占制度概説（中・２)」『金蘭短期大学研究誌』34，pp. 15-72
杉原たく哉「画像石が語る「史記」の世界―古代中国の生活と思想（特集 「史記」の時代

と書画―歴史を動かした文字の力)」『文人の眼』７・８，pp. 20-29
菅谷文則「ベトナム中部出土の青銅鏡―Ho Xuan Em 先生著書の紹介」『亞洲考古学』１，pp. 53-66
杉本憲司「最近の中国現地調査―古代のシルクロード―」『日本秦漢史学会報』４, pp. 51-54
杉本憲司「漢代の武庫」『辺境出土木簡の研究』朋友書店，pp. 517-547
鈴木雅隆「鎮墓文の系譜と天師道との関係」『史滴』25，pp. 2-20
鈴木敦「『甲骨文編』における大文字域の分析」『人文学科論集〈茨城大学人文学部〉』40，pp. 1-17
鈴木勉「漢委奴国王印は光武帝が下賜した印か？―廣陵王璽との技術的距離を考える」『書論』33，pp. 115-123
西北出土文献を読む会〈史料紹介〉「トゥルファン出土漢語文書校訂稿（4）アスターナ 305 号墓出土文書（続），アスターナ１号墓とその出土文書」『東アジア〈新潟大学東アジア学会〉』12，pp. 30-53
専修大学『二年律令』研究会「張家山漢簡『二年律令』訳注（一）―賊律―」『専修史学』35，pp. 106-160
千田稔「中世の国際交易活動―張宝高の海上王国について―」『東アジアと『半島空間』―山東半島と遼東半島―』思文閣出版，pp. 170-187
蘇哲「山東省臨誑県北斉崔芬墓の人物屏風壁画について」『中国考古学』３，pp. 106-120
蘇哲「大同北魏宋紹祖墓出土の俑について」『亞洲考古学』１，pp. 13-20
戴俊英「中国魏晋南北朝における華中墳墓の類型的分析」『岡山大学大学院文化科学研究科紀要』15，pp. 131-161
戴俊英「中国魏晋南北朝における華中墳墓の編年的分析」『岡山大学大学院文化科学研究科紀要 16，pp. 392-339
高木智見「古代中國の儀禮における三の象徴性」『東洋史研究』62－3，pp. 439-474
高倉純「北東アジアの石刃鏃石器群」『古代文化』55－10，pp. 34-45
高田時雄「敦煌写本を求めて―日本人学者のヨーロッパ訪書行（特集 敦煌学の百年)」『仏教芸術』271，pp. 21-32
鷹取祐司「漢簡所見文書考」『辺境出土木簡の研究』朋友書店，pp. 119-160
高浜秀「第一部 中央ユーラシア　序章 中央ユーラシアの初期王権研究の視点」初期王権研究委員会編『古代王権の誕生〈3〉中央ユーラシア・西アジア・北アフリカ編』角川書店，pp. 9-12
高浜秀「第一部 中央ユーラシア　第一章 中央ユーラシア草原地帯東部における王権の成立」初期王権研究委員会編『古代王権の誕生〈3〉中央ユーラシア・西アジア・北アフリカ編』角川書店，pp. 13-27
高見哲士「オルドス地域における春秋戦後時代の墓」『亞州学誌』２，pp. 87-94
竹内康浩「第三章 西周」『世界歴史大系 中国史１―先史～後漢―』山川出版社, pp. 163-219

田中亮之介「戦国後期から漢代初期における漆器手工業の背景とその変遷―烙印資料の集成と分類から考える」『人文学報』335，pp.93-136
田中俊明「百済と北斉」『東アジアと『半島空間』―山東半島と遼東半島―』思文閣出版，pp.155-170
田中知佐子「敦煌莫高窟の「龍車・鳳車図」について」『仏教芸術』269，pp.85-109
谷口満「紀南城考古知見の再検討―楚郢都の位置問題―東北大学東洋史論集』９，pp.1-25
田畑潤「青銅爵の型式変化の背景」『亞州学誌』２，pp.75-86
張娜麗「西域発見の文字資料―「大谷文書」中の諸断片について―(2)」『学苑』753，pp.13-35
張娜麗「西域発見の文字資料［三］―『大谷文書集成』所収写経断片について」『学苑』759，pp.65-109
張娜麗「敦煌発見の自注童蒙書について―『蒙求』『兎園策府』の諸問題を中心に」『お茶の水女子大学中国文学会報』22，pp.174-159
張莉「中国古代文字における「耳の記号」の考察」『日本文化環境論講座紀要』５，pp.69-81
趙輝・魏峻「中国における新石器時代城址の発見と研究」後藤直・茂木雅博編『東アジアと日本の考古学Ⅴ　集落と都市』同成社，pp.149-193
角田文衛「総叙」『古代王権の誕生〈1〉東アジア編』角川書店，pp.9-24
鶴間和幸「第八章 新・後漢」『世界歴史大系 中国史１―先史～後漢―』山川出版社，pp.491-586
鶴間和幸「〔補論〕中国古代の身分制」『世界歴史大系 中国史１―先史～後漢―』山川出版社，pp.586-595
田国彦（加藤瑛二・楊郁華訳）「中国内モンゴル赤峰地区先史時代集落の分布と形態の概要」『人間科学研究〈名城大学教職課程部〉』13，pp.59-86
徳留大輔「中国新石器時代河南中部地域の土器から見た地域間交流（上）」『古代文化』55－5，pp.27-42
徳留大輔「中国新石器時代河南中部地域の土器から見た地域間交流（下）」『古代文化』55－6，pp.28-39
百橋明穂「美術史学における敦煌学百年の軌跡（特集 敦煌学の百年）」『仏教芸術』271，pp.9-20
冨谷至「亭制に關する一考察」『辺境出土木簡の研究』朋友書店，pp.367-409
中井将嗣「東アジア大陸における新石器時代人の身長」『ANTHROPOLOGICAL SCIENCE (JAPANESE SERIES)』111－1，pp.1-17
永田英正「学史 貝塚茂樹博士の伝記」『古代文化』55－8，pp.455-459
中根千枝「追悼 江上波夫先生を偲ぶ」『東方学』105，pp.239-241
中野俊雄「技術報告 中世，近世の我が国の鉄仏と中国，韓国との対比」『鋳造工学』75－9，pp.629-635
中村慎一「第三部 中国　第一章 玉の王権―良渚文化期の社会構造―」『古代王権の誕生〈1〉

東アジア編』角川書店，pp. 186-200
仲山茂「両漢功曹考」『名古屋大学東洋史研究報告』27，pp. 1-27
仲山茂〈書評〉「池田雄一著『中国古代の聚落と地方行政』」『日本秦漢史學會報』４，pp. 146-165
成家徹郎「ナシ族トンパと商代巫師」『東方』271，pp. 12-16
成家徹郎「中国史への招待（11）夏商周年代確定プロジェクト（上）甲骨文の月食記録と商代の暦」『月刊しにか』14－2，pp. 82-97
成家徹郎「中国史への招待（12・最終回）夏商周年代確定プロジェクト（下）西周の年代をめぐって」『月刊しにか』14－3，pp. 98-103
西江清高「第一章 先史時代から初期王朝時代」『世界歴史大系 中国史１―先史～後漢―』山川出版社，pp. 3-102
野尻忠・稲田奈津子〈史料紹介〉「大谷文書唐代田制関係文書群の復原研究―釈文編」『東京大学日本史学研究室紀要』７，pp. 145-165
橋本敏行「近年における第Ⅳ型式銅鼓の研究」『亞州学誌』２，pp. 103-112
橋本敏行「第Ⅲ・第Ⅳ型式の銅鼓に関する一考察―國學院大學考古学資料館所蔵銅鼓を中心として―」『國學院大學 考古学資料館紀要』19，pp. 215-243
濱田瑞美「敦煌莫高窟の白衣仏について」『仏教芸術』267，pp. 13-31
濱名弘二「武器形遺物副葬墓の再検討―有斧石斧副葬の意義」『中国考古学』３，pp. 1-21
林巳奈夫「中国古代の仙人の図像について」『考古学雑誌』87－3，pp. 37-50
林俊雄「江上波夫先生と内陸アジア研究」『内陸アジア史研究』18，pp. 75-78
林巳奈夫「古玉雑考」『泉屋博古館紀要』19，pp. 1-33
原田幹・中村慎一・小柳美樹「良渚文化石器の使用痕分析」『中国考古学』３，pp. 121-123
原宗子「中国環境史の方法・試論―「地域」の概念設定に関わって―」『東洋文化研究』５，pp. 35-65
樊錦詩（潘亮文訳）「敦煌石窟研究の百年の回顧と展望（特集 敦煌学の百年）」『仏教芸術』271，pp. 66-83
樋口隆康「住友コレクションの中国古銅器―泉屋博古館記念講演 梗概―」『泉屋博古館紀要』19，pp. 105-110
樋口隆康「社禝の起源」『橿原考古研究所論集』14，pp. 1-9
ピーター・ヘスラー「特集 古代中国の殷 その青銅器文化のルーツ」『National geographic』9－7，pp. 108-133
平@txttag(M109)辣隆郎「数の秩序と九・六・八（特集 聖数―500 号記念増大号）」『月刊考古学ジャーナル』500，pp. 6-11
平@txttag(M109)辣隆郎「第四章 春秋」『世界歴史大系 中国史１―先史～後漢―』山川出版社，pp. 221-262
平@txttag(M109)辣隆郎「〔補論〕中国社会の発展と時代区分論争」『世界歴史大系 中国史

１―先史～後漢―』山川出版社，pp.263-272
平@txttag(M109)辣隆郎「第五章 戦国」『世界歴史大系 中国史１―先史～後漢―』山川出版社，pp.273-318
平@txttag(M109)辣隆郎「〔補論〕出土文字史料」『世界歴史大系 中国史１―先史～後漢―』山川出版社，pp.319-332
藤井康隆「三燕における帯金具の新例をめぐって」『立命館大学考古学論集』3－2，pp.951-966
藤田高夫「出土簡牘より見たD21遺址の性格」『辺境出土木簡の研究』朋友書店，pp.49-88
古瀬奈津子〈書評〉「池田温著『東アジアの文化交流史』」『唐代史研究』６，pp.152-157
槙林啓介「中国新石器時代甑の基礎的研究」『先史学・考古学論究Ⅳ〈龍田考古会〉』pp.289-312
益満義裕「俑から見た中国古代のウマの変容」『学習院史学』41，pp.84-99
馬世長（齋藤龍一訳）「敦煌莫高窟と石窟寺院における考古学的研究―往事回想（特集 敦煌学の百年）」『仏教芸術』271，pp.84-95
松井嘉徳「第三部 中国　第五章 経巡る王」『古代王権の誕生〈1〉東アジア編』角川書店，pp.241-257
松澤博「西夏文献拾遺（2）―『黒城出土文書（漢文文書）』所収仏典断片を中心として―」『東洋史苑』60・61，pp.87-166
松永篤知「中国新石器時代の「敷物圧痕」について」『中国考古学』３，pp.22-45
松丸道雄「第二章 殷」『世界歴史大系 中国史１―先史～後漢―』山川出版社，pp.103-162
松本保宣「唐代常朝制度試論　吉田歓氏『日中宮城の比較研究』に寄せて」『立命館東洋史学』26，pp.43-85
真鍋義孝「歯からみた山東の古代人」『東アジアと『半島空間』―山東半島と遼東半島―』思文閣出版，pp.126-154
三重大学人文学部考古学研究室「中華人民共和国陝西省東龍山漢墓―陝西省考古研究所・三重大学人文学部考古学研究室合同発掘調査記録」『三重大史学』３，pp.29-60
水野卓「春秋時代における統治権の変容　「器」の意味を中心として」『東方学』106，pp.39-52
水間大輔「秦律・漢律における殺人罪の類型―張家山漢簡「二年律令」を中心に―」『史観』148，pp.32-47
三船温尚「中国明・清代の鋳造技法（その１）北京故宮博物院の罐に関する調査報告と考察」『高岡短期大学紀要』18，pp.235-265
三宅俊彦「〈海外情報〉モンゴル国アウラガ遺跡出土の銭貨」『出土銭貨』19，pp.97-107
三宅俊彦・魏堅・阿子島功・折茂克哉「内蒙古中南部における青銅器時代の遺跡とその立地」『博望』４，pp.61-102
宮崎順子「敦煌文書ペリオ3647文書の術数と訳注」『東洋史訪』９，pp.13-39
宮宅潔「漢代の敦煌戰線と食糧管理」『辺境出土木簡の研究』朋友書店，pp.205-244

宮本一夫「膠東半島と遼東半島の先史社会における交流」『東アジアと『半島空間』―山東半島と遼東半島―』思文閣出版，pp. 3-20
宮本一夫・宮井善朗・吉田広・田尻義了「東北アジア青銅器文化からみた韓国青銅器文化に関する研究」『青丘学術論集』22，pp. 5-123
武者章「西周時代の墓葬研究―周王権と諸侯又は諸侯クラスについて・序」『中国考古学』３，pp. 75-86
村岡倫「モンゴル西部におけるチンギス・カンの軍事拠点―2001 年チンカイ屯田調査報告をかねて―」『龍谷史壇』119・120，pp. 1-6
村上恭通「黄海をめぐる鉄技術・文化の展開―戦国時代の燕，朝鮮半島の三韓・三国時代を中心に―」『東アジアと日本の考古学Ⅲ　交流と交易』同成社，pp. 75-99
村上恭通「中国・朝鮮半島における鉄器の普及と弥生時代の実年代」『考古学ジャーナル』510，pp. 17-20
籾山明「秦代公文書の海へ―湖南龍山里耶出土の簡牘を読む」『東方』268，pp. 2-6
森岡秀人「貨幣」『東アジアと日本の考古学Ⅲ　交流と交易』同成社，pp. 181-218
森賀一恵「甲骨文左右二字弁」『東方学報』75，pp. 410-394
森下章司「山東・遼東・楽浪・倭をめぐる古代銅鏡の流通」『東アジアと『半島空間』―山東半島と遼東半島―』思文閣出版，pp. 115-125
森達也「中国・青瓷ものがたり（14）秦・西漢時代の原始青瓷２」『陶説』601，pp. 68-71
森達也「中国・青瓷ものがたり（15）東漢時代の原始青瓷」『陶説』602，pp. 66-72
森達也「中国・青瓷ものがたり（16）青瓷の完成―東漢時代の青瓷１」『陶説』603，pp. 88-92
森達也「中国・青瓷ものがたり（17）東漢時代の青瓷２」『陶説』604，pp. 75-79
森達也「中国・青瓷ものがたり（18）東漢時代の青瓷３」『陶説』605，pp. 59-62
八木春生「麦積山石窟西魏窟に関する一考察」『芸叢』20，pp. 1-41
八木春生「北響堂山石窟北洞に関する一考察」『芸術研究報』24，pp. 75-98
八木春生「龍門石窟北魏後期諸窟についての一考察―520－530 年代に開かれた石窟を中心として」『仏教芸術』267，pp. 59-89
山川誠治「曾参と閔損―村上英二氏蔵漢代孝子伝図画像鏡について」『仏教大学大学院紀要』31，pp. 93-102
山口典子「「荊河刺秦王」故事画像考」『亜洲考古学』１，pp. 21-53
山下志保「刻紋銅器考」『先史学・考古学論究Ⅳ〈龍田考古会〉』pp. 533-551
楊立国「古代中国における貝貨の特質―貝貨を巡る諸説の経済学的検討―『比較社会文化研究』14，pp. 143-155
横田禎昭「河西と寧夏における沙井文化の影響―沙井文化再考」『島根県立大学総合政策学会総合政策論叢』５，pp. 71-78
吉岡真「羅振玉と『芒洛冢墓遺文』五編（下）」『福大史学』74・75，pp. 159-183
吉開将人「『中国歴史地図集』の論理―歴史地理と疆城観」『史朋』36，pp. 32-48

吉開将人〈学界動向〉「嶺南史における秦と南越―「秦代造船遺址」論争とその周辺」『東洋学報』84－4，pp.487-506
吉村昌之「出土簡牘資料にみられる暦譜の集成」『辺境出土木簡の研究』朋友書店，pp.495-516
吉村怜「古代比丘像の着衣と名称―僧祇支・汗衫・偏衫・直〔トツ〕について」『Museum』587，pp.5-24
吉村苣子「中国墓葬における独角系鎮墓獣の系譜」『Museum』583，pp.45-66，3-4
吉本道雅〈書評〉「松井嘉徳著『周代国制の研究』」『史窓』60，pp.69-74
吉本道雅「春秋國人再考」『立命館文学』578，pp.581-592
吉本道雅「第三部 中国　第六章 古代中国の系譜を読み解く」『古代王権の誕生〈1〉東アジア編』角川書店，pp.258-272
米田健志「漢代印章考」『辺境出土木簡の研究』朋友書店，pp.297-340
李建民(荒川緑訳)「考古学上の発見と任脈学説の新認識」『中国―社会と文化』18,pp.84-101
李剛「先秦における青銅器の鉛同位体比」『中国考古学』３，pp.46-74
李静傑「雲岡第９・10 窟の図像構成について」『仏教芸術』267，pp.33-58
劉恒武「中国海岱地域と太湖周辺の先史文化の大口尊」『古代学研究』161，pp.29-43
劉慶柱「中国古代都城史の考古学的研究―都城・宮城・宮殿そして宮苑問題について―」『創立 50 周年記念　奈良文化財研究所学報　研究論集ⅩⅣ　東アジアの古代都城』66，pp.7-48
林聖智「南宋の道教における地獄救済の図像学―傳梁楷「黄庭経図巻」考」『仏教芸術』268，pp.93-118
Jean-Pierre Drege（影山悦子訳）「敦煌の二流作品―ペリオコレクションの紙絵（特集 敦煌学の百年）」『仏教芸術』271，pp.61-64
Roderick Whitfield（有地芽浬訳）「大英博物館所蔵の敦煌絵画断片について（特集 敦煌学の百年）」『仏教芸術』271，pp.48-56
Wong Yu-Hsuan「北宋墓誌に見える財産権に関する史料について」『上智史学』48，pp.93-117

【科学研究費補助金成果報告書】

研究代表者 渡邊寛『日中律令制の比較研究　平成 12～14 年度科学研究費補助金（基盤研究（Ｂ））研究成果報告書』
研究代表者 森雅秀『チベット仏教絵画の図像学的および様式史的研究　平成 13～14 年度科学研究費補助金（基盤研究（Ｃ）（２））研究成果報告書』